

海のゆりかご探検

浜名湖アマモ場観察

学校の関連学習単元

小 4/ 理科 季節生き物
小 6/ 理科 生物と地球環境

プログラム概要

対象

幼 小1 小2 小3 小4 小5 小6 中学 大人
○ ○ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○

分野	時期	時間	人数	場所	講師/補助	費用
水	5月中旬 ～9月中旬	半日	40人 (1クラス)	浜名湖 (いかり瀬)	1人/1人	小学生以下 600円



ねらい

- ・アマモ群生地での生きものの観察を通し、浜名湖の豊かさを体感する。

実施内容

- ・浜名湖とアマモ場について説明を聞く。
- ・アマモ場の生きものの観察をする。
- ・採集した生きものの解説を聞く。

使用する材料・道具

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

- ◇マリンシューズ又は濡れてもよい靴
- ◇帽子
- ◇飲み物
- ◇水着と着替え

- ◆たも網
- ◆水生生物観察用水槽
- ◆図鑑
- ◆拡声器

講座活用のワンポイントアドバイス

- ・本プログラムは、あらゆる年齢の方が申し込みできます。ただし、安全のため、小学生以下は保護者又は引率者等が同伴してください。
- ・潮位が低いことが実施の条件となるため、実施日時は調整させていただくことがあります。
- ・40人以上の参加も可能です。参加者数により、講師の派遣人数を調整します。
- ・アマモ場は「弁天島海浜公園（いかり瀬）」になります。

【費用負担】

- ・保険（イベント保険等）へは、参加者で加入してください。
- ・駐車場は、弁天島海浜公園駐車場をご利用ください（有料）。

【雨天の場合】

中止もしくは延期。前日が荒天の場合は、指導者と協議し実施の可否を判断してください。

実施機関

浜松市環境政策課（浜松市環境学習指導者）

下記連絡先へ実施日の 2 か月前までに申し込んでください。浜松市環境学習指導者を講師として派遣します。実施の決定後、事前打合せが必要なため、講座実施の 2 週間前までに講師へご連絡ください。

問合せ・申込先： 浜松市環境政策課 TEL：053-453-6149 Mail：kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp
申込方法はホームページをご覧ください。



プログラムの展開例 ※いかり瀬の場合

時間	内 容	指導のポイント
導 入 20 分	○海浜公園の渡船場付近で乗船方法を説明する (船でいかり瀬に移動する) (いかり瀬到着後) ○浜名湖とアマモ場について説明する ・浜名湖について説明 (面積、成り立ち、特徴など) ・「アマモ」と「コアマモ」を紹介 ・「海草」と「海藻」の違い ・アマモ場の役割 アマモ場は、水流が穏やかなため、産卵場所や小魚やエビなどのすみか・えさ場となる。	〔浜名湖の概略〕 面積：70.4km² 周囲長：128km 水深：平均 4.8m、最大 13.1m(湖心) ・実際に、アマモとコアマモを手にとって説明する。 ・アマモとコアマモの違いには、形状や大きさのほかに、生育場所がある。アマモは海中に生育するのに対し、コアマモは潮汐により海面に出る場所で生育する。 ・海草とは、進化の過程で一度陸に上がった後、再び海に戻ったもの。種子で繁殖する。 ・有毒の魚等については、可能であれば図鑑等で解説する。
	○観察方法を説明する ・観察時間や終了後の集合場所を設定する。 ・行動範囲を指定する(航路帯に入らない)。 ・危険なもの(ガラス、有毒の魚等)には触らない。 ・観察後に採集した生き物を持ち寄り、どんな生き物がいたのか共有する。	
観 察 60 分	○アマモ場を観察する ・参加者はフィールド内を自由に移動しながら、生き物を採集、観察する。	・生き物を採集することができない参加者については支援する。(採集例：網を固定して足で追い込む) <安全管理> ・目の行き届く場所ではあるが、安全管理のため、参加者の動きには常に注意を払う。
ま と め 20 分	○採集した生き物を共有する ・参加者が採集した生き物を持ち寄り、解説する	・採集した生き物の解説に終始するのではなく、その生き物にまつわるエピソードや類似種等の解説を交える。
	○採集した生き物を、観察後アマモ場に放し、海浜公園に戻る	

